

【メールマガジン～近畿運輸局公共交通だより】

2020年2月7日配信（No. 71号）

本メールは、公共交通政策全般について皆様に広く関心を持って頂くため、国土交通省総合政策局交通政策課が作成した全国の情報に、近畿運輸局において主に近畿地方の情報を加えて編集し、情報発信するものです。

☆☆☆ご意見・情報がありましたら、以下までお寄せ下さい。☆☆☆

★★★ご意見や情報、メールアドレスの変更はこちらへ★★★

kkt-kinki-kikakuka@mlit.go.jp

なお、本メールの配信停止を希望される方は、上記アドレスまで「配信停止」と記入のうえお知らせください。また、本メールは出典を明記のうえで、関係者の方々に回覧・転送していただいても結構です。

※関係団体の皆様におかれましては、関係交通事業者あてに転送くださると幸いです。

平素より、当メールマガジンをご愛読いただきありがとうございます。
今回は以下のラインナップでお送りいたします。

○令和元年度補正予算及び令和2年度予算概算決定について

(総合政策局交通政策課)

○OsakaMetro 御堂筋線における終電延長の実証実験を実施します！

(総合政策局交通政策課企画室)

○～経路検索でフェリー・旅客船をもっと便利に～

「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット利活用セミナー」を開催しました。

(中国運輸局)

<掲示板>

☆ 地域公共交通支援センターについて

☆ 公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」について

令和元年度補正予算及び令和２年度予算概算決定について

(総合政策局 交通政策課)

令和元年度補正予算案及び令和２年度予算案については、それぞれ令和元年１２月１３日、令和元年１２月２０日に閣議決定されました。

令和元年度補正予算案については、

① 代行バスの運行への支援（約１．１億円）

台風第１９号により被災し長期に運休が生じた地域の鉄道路線について、通学・通勤等の移動手段を確保するために行われる代行バスによる代替輸送の支援。

② 地域鉄道の安全性向上、公共交通のバリアフリー化（約４８億円）

災害時等における要配慮者の避難・移動手段を確保するとともに、地域において高齢者等が自家用車に頼らず安全・安心に移動できる環境を整備するため、地域鉄道の安全性の向上や鉄道・バス・タクシーのバリアフリー化の支援。

③ 地域公共交通の生産性向上（約７．７億円）

AI等の新たな技術を活用して地域の公共交通事業者の生産性向上を図るとともに、MaaSの普及を推進するため、AIオンデマンド交通やバス・タクシー等におけるキャッシュレス決済の導入支援。

などを計上しております。

令和２年度予算案のうち「地域公共交通確保維持改善事業」については、全体で約２０４億円計上しております。交通政策基本計画（平成２７年２月１３日閣議決定）に掲げられた目標の達成に向けて、計画に基づく着実な進捗を図ることとし、全国各地における地域の多様な関係者の連携による生活交通の確保・維持や快適で安全な公共交通の構築に向けた取組を効率かつ効果的に支援していくこととしております。

具体的には、「地域主導の交通サービスの確保・充実に対する支援」を柱とし、

① 地域の実情に応じた生活交通の確保

- ・地域間交通ネットワークを形成する幹線バス交通の運行や車両購入、貨客混載の導入を支援
- ・離島住民の日常生活に不可欠な交通手段である離島航路・航空路の運航等を支援

② 快適で安全な公共交通の実現

- ・高齢者等の移動円滑化のためのノンステップバス、福祉タクシーの導入、鉄道駅における内方線付点状ブロックの整備
- ・地域鉄道の安全性向上に資する設備の更新等

③ 地域公共交通ネットワーク形成に向けた計画策定等の後押し

④ 地域公共交通特定事業に対する特例措置

⑤ 地域公共交通ネットワーク構築に向けた協働による取組に対する特例措置

などを実施することとしております。

この他に、復興庁計上分として、東日本大震災の被災地における復旧・復興の進捗に応じた生活交通の確保・維持のため、約７．２億円を計上しております。

また、新たなモビリティサービスである MaaS (Mobility as a Service) の全国への普及を図り、地域や観光地の移動手段の確保・充実や公共交通機関の維持・活性化等を進めることを目的として、地域課題の解決に資する MaaS の実証実験や MaaS の普及に必要な基盤づくりへの支援のため約 1.4 億円を計上しております。

具体的には、

- ① 地域課題の解決に資する MaaS 構築に向けた実証実験
- ② MaaS の普及に必要な基盤づくり

・ AI オンデマンド交通 (スマート AI モビリティ) 又はキャッシュレス決済や

交通事業者のデータ化のためのシステム整備といった MaaS の普及に必要な基盤づくりへの支援などを実施することとしております。

本制度の詳細については、最寄りの地方運輸局又は運輸支局までお尋ね下さい。

OsakaMetro 御堂筋線における終電延長の実証実験を実施します！

(総合政策局 交通政策課 企画室)

国土交通省では「明日の日本を支える観光ビジョン（平成28年3月30日策定）」における、訪日外国人旅行者数2020年4,000万人、2030年6,000万人、訪日外国人旅行消費額2020年8兆円、2030年15兆円という目標達成に向けて、訪日外国人旅行者の受入環境整備など様々な取り組みを進めているところです。その一環として、訪日外国人旅行者の受け入れ拡大や消費促進を図るためには、夜間（ナイトタイム）を有効活用し、新たな消費機会の創出やナイトライフの満足度向上に繋げることが重要であり、そのためには夜間の周遊のための環境整備が課題です。

このため、国土交通省においては、大阪市高速電気軌道(株) (OsakaMetro) の協力の下、OsakaMetro 御堂筋線の終電時刻を概ね2時間延長し、沿線エリアにおける夜間の消費動向や人口流動、交通需要に与える影響を、外国人と日本人等の属性に分けて、ビックデータ等を活用して調査します。あわせて、深夜運行の実施に際しての鉄道事業者側の課題や対応策についても確認します。

また、これらの調査結果等を踏まえ、今年度、夜間の周遊行動に係る調査手法を確立し、来年の東京オリンピックの期間中に予定されている首都圏の公共交通機関の終電延長に係る影響等についても適切に把握することにより、夜間の交通アクセスの充実に向けた環境整備を進めて参ります。

1. 実施日

令和2年1月24日（金）※実施済み、令和2年2月21日（金）の2日間

2. 対象路線

OsakaMetro 御堂筋線（江坂～なかもず間）

3. 実験内容

OsakaMetro 御堂筋線の終電時刻を概ね2時間延長

上下線とも概ね15分間隔で深夜運行

〈終電車の運行ダイヤ〉

上り	なかもず駅		なんば駅		新大阪駅
現行	23:47	→	0:11	→	0:26
延長時	1:47	→	2:11	→	2:27
下り	新大阪駅		なんば駅		なかもず駅
現行	0:02	→	0:17	→	0:41
延長時	2:01	→	2:16	→	2:41

4. 調査内容

- 夜間の消費動向や人口流動、交通需要の変化
- 深夜運行の実施に際しての鉄道事業者の課題や対応策

【参考】OsakaMetro ホームページ

URL : https://www.osakametro.co.jp/last_train_extended/

その夜、御堂筋線は、眠らない。

Osaka Metro won't sleep 'til late.



2020.1.24_{Fri} & 2.21_{Fri}
26時台まで終電延長。

御堂筋線（江坂 ↔ なかもず間）

Last train will run until 26:00-ish. / Midosuji Line (between Esaka-Nakamozu)



この取り組みは国土交通省が行う「ナイトタイムエコノミーに対応した交通サービスの推進に向けた調査」の一環として実施する実証実験です。

詳しくは Osaka Metro ホームページへ、
https://www.osakametro.co.jp/last_train_extended/



**～経路検索でフェリー・旅客船をもっと便利に～
「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット利活用セミナー」を開催しました。
(中国運輸局)**

旅客定期航路は、①年間で複数回のダイヤ変更があり、②航路を紹介する纏まった刊行物も乏しいため、運行状況やその存在自体が認知されづらく、利用機会を喪失している可能性があります。

そこで、中国運輸局では、各旅客定期航路事業者が「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット」に沿ってデータを整備することで、より多くの方に利用していただくことを目指し、中国旅客船協会と共催で「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット利活用セミナー」を開催しました。

※標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマットとは・・・旅客定期航路事業者と経路検索等の情報利用者との情報の受け渡しのための共通フォーマット。これに沿ってデータを整備し、経路検索事業者にデータを提供することで経路検索が可能となり、これまで利用機会を喪失していた利用者にも広く認知されフェリー・旅客船の利用増加が期待されます。

当日は、管内の事業者や自治体の担当者の方など、合わせて 50 名の方に参加いただきました。

講義では①運輸局から自社での GTFS データ整備とオープン化によるメリットについて説明し、②呉工業高等専門学校 神田教授からデータ整備と経路検索事業者へのデータ提供の必要性和効果について講演いただきました。

また、セミナー後半では中国運輸局から、海事局が公開する「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット」作成ツールを用いた、実際のデータ入力・検証手法について説明を行いました。

データの入力手法の説明を行っていく中で、いくつかの事業者の方からは、実際に自社のデータを入力していく際に問題となりそうな点について質問をいただきました。

さらに、参加者アンケートでも過半数の事業者の方から「データ整備に是非取り組みたい」との回答を頂くことができ、GTFS データ整備に向けたキッカケとして、良いスタートができたのではないかと思います。

また、2月3日には「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット」入力体験勉強会の開催を予定しております。

中国運輸局では、引き続き GTFS を利用したオープンデータ化に向け、取組を進めてまいります。

**標準的なフェリー・旅客船航路
情報フォーマット利活用セミナー**

日時 令和元年12月3日(火)
14:00～16:50 (受付 13:30～)

場所 広島合同庁舎4号館 5階会議室
(広島県広島市中区上八丁6-30)

定員 70名

**参加費
無料**

標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマットとは？

旅客定期航路事業者と経路検索等の情報利用者との情報の受け渡しのため、国土交通省海事局が活用を呼びかけている共通フォーマットです。
旅客定期航路は、お盆・正月期間、夏船・冬船など、季節でも複数のダイヤ変更があり、また、経路を紹介する纏まった刊行物も乏しいため、旅客定期航路やその存在自体が認知されづらく、利用機会を喪失している可能性があります。
この「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット」に沿ってデータを整備する、Google等の経路検索事業者にデータ提供することにより、旅客定期航路情報が経路検索可能となることから、これまで利用機会を喪失していた利用者にも広く認知されることで、フェリー・旅客船利用者の増加が期待されます。

時刻	内容
14:00	中国運輸局 海事課長 野田 孝典 開会
14:05～14:40	中国運輸局 交通政策部 交通企画課 部長 戸島 光 「公表・公開情報に付いた標準化データの整備意義について」 ～個別の経路検索事業者へのデータ提供の意義、経路検索事業者へのデータ提供の意義～
14:40～15:40	呉工業高等専門学校 教授 神田 浩二 氏 「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマットのデータ入力・検証手法について」 ～実際のデータ入力・検証の手法、経路検索事業者へのデータ提供の意義～
15:40～15:50	休憩
15:50～16:50	中国運輸局 交通政策部 交通企画課 部長 戸島 光 「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマットのデータ入力・検証手法について」
16:50	中国運輸局 海事課長 野田 孝典 閉会

※ 講義終了後、データ入力・検証体験セミナーを開催いたします。
※ 当日は、中国運輸局から、海事局が公開する「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット」作成ツールを用いた、実際のデータ入力・検証手法について説明を行います。

主催：中国運輸局、中国旅客船協会
共催：中国旅客船協会、中国運輸局、中国船舶協会
TEL：082-228-3679



< 掲 示 板 >

☆ 地域公共交通支援センター

交通政策課では、市町村をはじめとする各地域の関係者が、地域公共交通の確保・維持に取り組む際に有効に活用いただくため、全国各地における様々な先進事例（約300事例）を蓄積している「地域公共交通支援センター」を運用しております。

「地域公共交通支援センター」は、地域、人口、交通モード等により、先進事例を検索することも可能となっております。是非ご活用下さい。

<地域公共交通支援センター> <http://koutsu-shien-center.jp/index.html>

☆ 公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」

公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」（以下「キャラクター」という。）は、公共交通の利用促進について、より効果的な広報・啓発を行うことを目的としております。

キャラクターの使用を希望される場合、地方運輸局交通政策部交通企画課までお問い合わせ下さい。申請手続きについてご案内致します。

なお、「地域公共交通支援センター」においても、キャラクターの申請手続き、使用方法、FAQをご案内しております。

公共交通利用促進キャラクター のりたろう



大好きな公共交通機関で働くことを夢見ていたが、ネコでは単独で乗り降りができないことから一念発起。自らが新たなハイブリッド公共交通機関に進化することで夢を実現し、現在は利用促進PRの先頭に立って活動している。

駅長を務めるなど活躍中の仲間達を同じネコとして尊敬しており、いつか会って公共交通について熱く語り合いたいと思っている。

- ・移動手段は「ネコ足歩行」
- ・自由に移動できるが、疲れてしまうので 100 歩ごとに休憩が必要
- ・乗車可能人数は運転士（のりたろう本人）を含めて 1 名のみ！

読者の皆様からのご要望や全国に共有したい情報等がございましたら、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

国土交通省総合政策局交通政策課 梅澤
〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3（中央合同庁舎3号館3階）

TEL：03-5253-8986（直通）

FAX：03-5253-1513

E-mail: hqt-koutsuseisaku_joho@gxb.mlit.go.jp

★国土交通省HP（情報発信のページ）

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000039.html



